

構築会兵庫支部 平成19年度見学会の概要

平成19年度見学会は3カ所の視察先のご協力を得て、また谷口構築会会長にもお越しいただき、梅雨明けの猛暑の中で31名が参加して開催しました。

1カ所目は三木総合防災公園内に建設されている屋内テニスコート(愛称:ビーンズドーム)を訪ねました。この施設は屋内に9面のテニスコートを持ち、メインとなるセンターコートは1,500人の観客収容人数を誇る日本最大級の屋内テニスコर्टです。平常時は県民のスポーツ・レクリエーションの拠点として、災害時には応急活動要員の集結や救援物資の保管などに利用が可能な防災施設の中核となっています。鉄骨トラスのドーム構造で造られた柱のない大規模空間に驚きの声があがりました。



2カ所目は東灘下水処理場で、ここでは下水の汚泥を処理(発酵)する内空1万 m^3 のPC卵形消化タンクの建設現場と、そこで発生するガスを精製し天然ガス自動車の燃料となる「こうべバイオガス」の施設を見学しました。私たちの生活で出る下水から発生するガスを資源として活かし、地球環境の保全に貢献する試みは興味深いものでした。

最後はポートアイランドに今春開設された神戸学院大学キャンパスに伺いました。ここではコンテナバース跡地の大規模開発から大学キャンパス誕生までの経緯を詳しく説明していただきました。

その後は社会基盤工学部門長の中辻先生をお迎えし、このキャンパス内の一流ホテル直営レストランで盛大に懇親会を行いました。真夏の汗だくの見学会を終えて海に見える風景の中、いただくビールは格別の美味しさでした。

